



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760



ロータリーの心を
© Rotary International

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 1997-'98

国際ロータリー第2760地区 ガバナー 犬飼栄輝
事務所 〒450 名古屋市中村区名駅1-2-4 名鉄グランドホテル14階417号室
TEL 052-561-0020 FAX 052-561-0021



<ヒメウミガメ> Olive Ridley *Lepidochelys olivacea*
成体は甲長 60~70cmで海ガメの中では小型のカメです。
全体に丸い感じでろっ甲板が5個以上あり、横長の甲羅は
中央が最も広いという特徴があります。太平洋、インド洋、
大西洋に分布し、日本近海では年間数匹程度発見されます。
(写真提供：名古屋港水族館)

1998.3.20 No.10
雑誌月間[4月]



I.M各地で大成功

— 4月は雑誌月間です —

1997～'98年度 国際ロータリー第2760地区

ガバナー 犬飼 栄輝

「兎追いしかの山 小鮒釣りしかの川」

夢は今もめぐりて 思い出ずるふるさと」

長野オリンピックは日本の心の歌「ふるさと」で16日間の競技の幕を閉じました。

それは筋書きのないドラマのようなものでした。

私たちはTVの前で釘づけにされ、一喜一憂しながら成行きを見守り、しばしば感動で胸が熱くなりました。イラクでの緊張をよそに、72ヵ国2,302人の選手たちの国境や民族、宗教をこえてのスポーツの祭典は、国際平和がどんなに大切かを私たちに教えてくれました。

前号の月信後、3分區でI.Mが開かれました。

2月16日の名古屋第一分區のI.Mでは、盛田、加納両PGによるお話の後、名古屋生まれの作家井沢元彦氏の「歴史に学ぶ指導者の条件」と題する講演がありました。

2月28日の西三河第一分區のI.Mでは、PHP総合研究所の江口克彦副社長を招き「松下幸之助に学ぶ——人の使い方と活かし方」というテーマの講話が行なわれました。

3月7日には、西尾張分區のI.Mが開催され、加納・神戸両PGのご指導で各RC代表のパネルディスカッションが行なわれました。その後、愛知学院・小出忠孝学院長の「青少年の教育について」と題する講話を伺いました。

ご承知のとおり、I.Mは分區的地区大会です。

お互ロータリーの原点に帰り、友情の輪を広げると共に、キンロス会長の言われる「ロータリーの心」を行動に移す決意の場です。おかげ様で、各分區代理のご指導のもと、時宜を得たテーマで内容の充実した立派なI.Mとなり、いずれも大成功でした。ホストクラブ会長、実行委員長はじめ会員の皆様のご尽力に、深く敬意を表します。

さて、4月は雑誌月間です。

日本の「ロータリーの友」は1953年1月の創刊以来、今年45周年を迎えます。そして1980年にR.I公式地域雑誌となり、今では発行部数も14万部をこえました。これはR.I公式機関紙「THE ROTARIAN」の53万部に続き、世界で2番目に多い発行部数のロータリー情報誌です。

一般的には、やや固苦しく読みにくいと思われるようですが、決してそうではありません。

「友」には読んで楽しい記事や投稿も沢山あり、ロータリアンとして必要な基礎情報と共に、バランスのとれた格調高い編集となっています。

なお「ロータリーの友」英語版も発行されており、海外の友人に送ったり、海外出張の時に土産として持っていくことは、日本の文化や歴史をPRするよい機会となります。

また一昨年1月からは、インターネットにも、R.Iホームページが開設されています。

<http://www.ROTARY.ORG> がロータリアンのアクセスをお待ちしています。

知識とか情報というのは、待っているだけで向こうからやってくる訳ではありません。やはりあらゆるチャンスと手段を活かして、こちらから取りに行くことが大切です。

ロータリアンまで「活字バナレ」に巻き込まれないよう、日々新たな情報を得て、自分が楽しむ空間を更に広げるためにも「ロータリーの友」をぜひお読みいただきたいと思います。

3月15日には、内藤ガバナー・ノミニエがアナハイムでの国際協議会からご帰国になり、4月7日のPETS(会長エレクト研修セミナー)をはじめとする次年度の始動体制に入られます。各RCの積極的なご協力を、私からもお願い致します。

『雑誌月間』に寄せて 「ロータリーの友」は「生涯の友」…。

地区ロータリーの友委員会
委員長 種村 桂介



この4月は『ロータリーの友』誌普及のための『雑誌月間』です。

いま、私たち日本のロータリーでは『ロータリーの友』がRI認定の公式地域雑誌となっています。そして標準クラブ定款第12条によって会員の購読が義務づけられています。周知のとおりロータリー会員には三つの義務（①会費を納めること。②例会に出席すること。③機関紙を読むこと。）があります。機関紙『ロータリーの友』を読むことは義務であるとともに、ロータリアンにとってもっとも貴い権利ではないでしょうか。私はつねづねそう思っています。

『ロータリーの友』が生まれたのは1953年（昭和28年）です。前年の昭和27年には日本が二つの地区に編成されるほど、戦後の混乱の中でもロータリーは発展し、全ロータリーを結ぶ共通の情報誌が要望され『友』誌が誕生したのです。

1980年（昭和55年）にRIの公式地域雑誌として認定を受け、公式機関誌『The Rotarian』にかわって購読義務を代替できる資格を得たのです。

1990年（平成2年）にはRIから、世界中の公式地域雑誌22誌の中で最優秀であるという「グランプリ賞」をうけています。創刊当初は発行部数3300部でしたが、45年後の今年1月号では14万部を超え、通刊451号を数えています。

わたしたちの先輩たちは『ロータリーの友』発刊以来、この『友』を日本のロータリー共通の情報誌として立派に育ててこられたのです。

『雑誌月間』にあたり、まづこの45年の歴史に思いを馳せ、諸先輩の努力に敬意の念を表わそうではありませんか。

いま『友』誌の編集は『横組み』の部はRI会長

メッセージ、RI本部からの情報、理事会決定事項など掲載されています。「縦組み」の部はロータリー地区大会での講演、会員投稿、卓話、俳句・川柳など親睦的な親しみやすい内容となっています。「健康ひとくちメモ」のページなど、きわめて有用です。ちなみにことしの1月号・14頁では「禁煙」（和歌山県・弁護士47才・中迫広氏）、「38歳・職場で突然倒れ、大学循環器専門医による治療、一病息災。一日二度、足首に1Kgの重りをつけ、片足30回の運動」（宮城県・製氷業・92歳・西條盛氏）など9会員の健康メモが載っています。

また3月号投書箱では『クリスマス例会』という表現は是か非か（群馬県・産婦人科医・60才・豊泉清氏）などロータリー活動の根幹にかかわる鋭い質問も掲載されています。

表紙は東西の美術作品がカラーで紹介され、毎号美術評論家谷岡清氏の二作品の連関、比較が明快に分析され、価値あるシリーズとなっています。『ロータリーの友』誌は売らんかなの週刊誌とは違い、品よく編集されており、「堅い」というイメージをもっておられる会員も多いでしょう。しかし「読めば読むほど味わい深い」のが『ロータリーの友』誌です。

いま、わが2760地区は犬飼栄輝ガバナーのニューリーダーシッププランのもと生き生きとしたロータリー活動を展開しています。この月間によって『友』誌がいっそう身近になり、月初めの例会で雑誌委員長によって内容紹介がなされ、地区内ロータリアンの投稿がいっそう多くあり、『友』誌がわたしたちロータリアンにとって『生涯の友』となりますよう願っています。

東三河分区I.M開催報告

東三河分区 分区代理 鈴木 省三

田原の地区大会初日(11月8日)の記念講演で、佐々木先生(豊橋技科大学学長)は、世界人口が2020年に80億、2050年には100億に近づき、食料、エネルギー、環境のすべての面で行きづまり、2090年には物資の奪い合いから無秩序状態となる。要するに「人類に未来はない」と。

100年先の厳しい現実を、孫達に正しく伝えるにはどう話したら良いかを考えているうちに、日本経済の舵取りの失敗が、世界恐慌の引金となり100年どころか、すぐにもアジアが、日本経済が、音をたてて崩れそうな年末年始でした。

政治家、役人が自信を失うと、超大国とも言えども、国の進路は大揺れです。この様な情勢のもとI.Mが開催されました。

と き 平成10年1月31日(土) 13:00～

ところ 蒲郡プリンスホテル

参加人数 500名強

テーマ 激動する世界情勢—世界の中の日本—

講師 パリ日本文化会館 館長 磯村尚徳氏

でかいテーマの勉強を皆さんにして頂きました。時差ボケ中と講師は言われましたが、500人がセキひとつつないマナーのよさに、パリを愛し、こよなく日本を愛する磯村さんの真情がさわやかに伝わる1時間半でした。

日本経済は一朝一夕にあやしくなるような、チャチなものではない、日本は超一級の先進国であり、日本なしで地球を語る事はできない。

特に文化のレベルが高く、多くのフランス人が日本の歴史、文学、武士道にあこがれを持ち、柔



道をフランスの国技にして、しかも試合の前に座禅を組む事を真剣に考えている。芥川賞、直木賞作品の作家は、すぐにパリで出版され、多くの人達に読まれている。

日本の製造業の優秀さは申すに及ばずで、トヨタのフランス進出は国をあげて歓迎されている。日本人はもっと、自国の文化に誇りをもち、自国の経済に自信をもって欲しい。

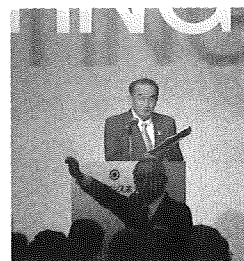
注文としては、アメリカ一辺倒でなく、世界を広く見て欲しい。少なくともフランス人はアメリカ人よりは大人であると、(少し耳が痛かった)。もうひとつ、日本の歴史をもっと学ぶべきだ。

磯村講師の次元の高い楽しいお話の終るまで、席を立つ者はひとりも無かった。こんなことは、今迄のRCの講演会で例がないと謝辞を申し上げました。不景気で、ともすれば自信を失いかけていた時、本当に良い話を聞きました。

それにしても、パリで「奥の細道」が研究されているのに、日本の高校生で三島由紀夫を知るものは少ないなんて、日本の教育はどうなってしまったのだ。



「激動する世界情勢—世界の中の日本—」と題した磯村氏の講演



「環境」をテーマにI.Mを開催

名古屋第二分区 分区代理 山田 静夫

第2760地区名古屋第二分区インターシティミーティング「以下I.M」は、1998年2月12日(木)午後4時よりホテルナゴヤキャッスルにて「環境」をテーマに550余名のロータリアンが参加し、1部式典、2部ステージ、3部懇親会の内容にて盛会のうちに終了致しました。

I.Mにつきましては、分区代理委嘱状を受けて、ただちに滑尚眞さんに実行委員長を依頼、心よく引き受けていただきました。

主旨、目的に関するテーマについては、数年前より諸外国で話題の多い「環境」というテーマと言われて私も素晴らしいと直ちに同意致しましたのが1年前、実行委員会、組織及びその分担は新年度7月中、スケジュールは10月まで完了予定と企画してもらいました。

企画委員会は7月中旬に7名の方々と初会合し、テーマは「環境」、スローガン「自然との共生」、キャッチフレーズ「水、緑、動物そして人間」と決定し、講演は鳥羽水族館の館長中村幸昭氏に御依頼すると共に内容のアウトラインの報告を受けました。

「すべて順調に進んでいる」との実行委員長の言葉に私も安心して、年の暮れを過ごし新年を迎えました。

私自身が自然科学と絵画的な形、色の世界から、自然環境に対して人間を中心とした生活権から地球生物の生活権と、更に次の世代への責任感とか、拡大された諸問題に関心を持つ様になったことは事実です。

I.Mのテーマ「環境」は、最近の環境破壊の例、京都の地球温暖化防止会議、1992年のRI規定審議会での環境保全への協力を進めるため「絶滅の危機に瀕する動物、植物の保護を支援するのは私達



ロータリアン一人ひとりの責務である」との決議を踏まえてであり、そのアピールを具現するにふさわしい適任者は誰かという観点から白羽の矢を立てました鳥羽水族館館長の中村幸昭氏のご講演は、ご出席の方々をグイグイと、我々がキャッチフレーズとした「水、緑、動物と人間」そしてスローガンである「自然との共生」に引き込んで下さり、見事な盛り上がりを演出して下さいました。

一宮RCの牛田猛地区環境保全委員会副委員長からの「環境」のスピーチ。更に、インターアクト、ローターアクトクラブの方々の最近の活動報告。

最後に「自然音楽」の高野昌昭さんの大自然のいぶきを感じさせた演奏と、硬軟織り混ぜた演出で参加者を飽きさせない工夫もしてみました。おかげ様にて懇親会も大変な盛況にて閉幕の運びとなりました。

地球は生きて居りますので科学の正しい力を借りて、この生態系の危機を乗り切りたいものと思います。

本年度も残り4ヶ月を残すのみとなり国際ロータリーのグレン・W・キンロス会長のテーマであります「ロータリーの心を」を基に、第2760地区の犬飼ガバナーの「ニューリーダーシッププラン」のご方針に従って、名古屋第二分区10クラブの皆様にご理解を賜るべく、活動をさせて頂く所存です。



分区代理あいさつ

名古屋第一分区I.M開催報告

名古屋第一分区 分区代理 堀田 逞二

〔概要〕

テーマ “リーダーシップ”

開催日 平成10年2月16日(月) 15:00~19:30

場 所 名古屋観光ホテル

参加者 506名(分会員総数 1,461)

特別出席者 犬飼栄輝ガバナー

盛田和昭P.G.、加納泉P.G.

地区出席者 片山主水地区幹事、副幹事

ガバナー事務局スタッフ

各委員会委員長

春日良平次期分区代理

岩田英之次期ホストクラブ会長

ホスト 名古屋中ロータリークラブ

〔内容〕

第1部 新入会員のためのセミナー

講師 盛田和昭P.G.(エンジョイロータリー)

講師 加納 泉P.G.(ニューリーダーシッププラン)

第2部 式典

犬飼ガバナー挨拶及び参加者紹介

第3部 講演会 講師 井沢元彦氏

“歴史に学ぶ 指導者の条件”

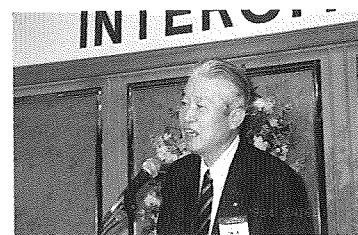
第4部 懇親会(立食パーティー)

今回のI.Mでは、特に新入会員のためのセミナーを第1部として開催した。講師には、盛田、加納の両パストガバナーにお願いしたが、盛田講師は、軽妙な話術でお得意の「エンジョイロータリー」を、又、加納講師はさすが理論派らしく「ニューリーダーシッププラン」をテーマとして取り上げられ解説を加えられた。参加会員からは、大変解り易かったと好評であったが、時間の制約とはいえ合計40分のご講演は、いささか短か過ぎたようである。

第2760地区名古屋第一分区 INTERCITY MEETING



講師 井沢 元彦氏

セミナー講師
盛田 和昭パストガバナーセミナー講師
加納 泉パストガバナー

犬飼ガバナーの挨拶

第3部は、歴史作家、井沢元彦氏をお招きしての講演会としたが、著名な作家であり、NHK番組“歴史発見”に1年間、レギュラー出演されていただけに馴染みが深く、前評判も上々だった。

当日は、期待に違わず、講演も名調子で参加者を大いに魅了した。

講演のテーマには、「指導者の条件」と定めてお願いしたが、それは、犬飼ガバナーのご方針の一つである“ニューリーダーシッププラン”になぞらえたことにほかならない。

井沢講師は、歴史研究家としての本領を遺憾無く発揮され、身近かな、信長、秀吉、家康の三英傑の生きざまを題材として取り上げられ、多くの示唆を与えられた。又、歴史を古く遡り、聖徳太子の17条の憲法に言及されたが、我々は歴史の中に無限の教訓を持っていることを痛感した次第である。日本人は素晴らしい歴史を持っているが、それを活用することが誠に下手な民族であるとよく云われる所以である。

最近、企業の倫理や経営者のモラルの問題が特に批判されているが、指導的地位を自負するロータリアンとして、自戒すべきときではなからうか。

今回のI.Mが、いささかなりとも資するところありとすれば、幸である。

WCS視察旅行報告



タイ、チェンマイ3360地区、愛知スカラーシップ調印式
左より、Dr.スミンバストガバナー、Dr.スセップガバナー、
鶴田委員長

97-98年度当地区のWCS活動の一環として、例年と同様、フィリピンとタイの2グループに分け各プロジェクトの視察とドネーションを行いました。今年はフィリピン、タイそれぞれ20名と例年以上のご参加をいただきました。ご参加いただきました方々と各クラブのご協力にまずもって厚くお礼申し上げます。

支援するプロジェクトについて、先方から多くの要請がありましたが、2760地区として、寄付金がより効果的に使われるようできるだけプロジェクト数を絞ることとし、視察旅行出発近くまで先方との交渉が続きました。そして結果としてフィリピンについては、3800地区が34プロジェクト、3810地区が23プロジェクト、タイ3360地区については、26プロジェクトに対し支援することとなりました。プロジェクトを取りまとめる中で感じたことは、独自の寄付活動を行ったり、両国RCへの寄付をきっかけに特定のRCとの交流が始まりプロジェクトを個別に決めるRCが序々にではありますが、増えているようです。大変結構なことだと思います。

さて、私は今年度はタイの視察旅行に参加しました。タイには一昨年参加しましたが、当地のロータリアンとチェンマイ空港で久しぶりに会いました。メンバーの紹介後、早速、先方のWCS委員長のDR.スミン氏と愛知奨学金を今後毎年200万円を5年間継続し計1,000万円を寄付することについて打ち合わせを行いました。

地区世界社会奉仕(小)委員会
委員長 鶴田 欣也



翌朝からは2日間にわたって各プロジェクトを視察しました。その中で特に印象に残ったことが2つありました。

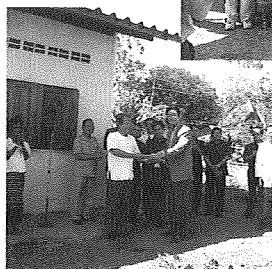
1つは、環境問題について、先進国と同じ考えで取り組んでいることです。例えば、小学校では自分達のゴミは分別して処理することを教えたり、運河を有効微生物(ぼかし)を使って浄化することも行っていました。2つ目は、中学1年の女子学生にHIV(エイズ)感染の教育を模型を使って行っていました。3360地区ではHIVが深刻な問題となっていることを改めて実感した次第であります。

グレン・キンロス会長は、「飢餓と貧困に対しロータリーの心を」と繰り返し訴えられております。我々2760地区のWCS活動は、キンロス会長の方針に沿ったものであり、有意義かつ成果大であるものと思います。

なお、当地区のWCS活動の総決算として、各プロジェクトの視察やドネーションの報告、参加各位の感想などを報告書として取りまとめ、各RCに配布する予定ですので、ご一読いただければ幸いです。



父親をエイズでなくした貧困家庭へ、
家と奨学金を送るプロジェクト



貧困家庭への家の贈呈式、
先方(ジョントン)RC会長と
鶴田委員長



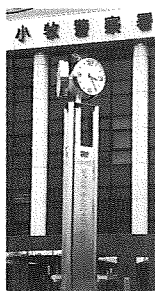
サンバトング中・高等学校にて記念植樹
(現)地区幹事の植樹も元気でした

小牧ロータリークラブ 30周年記念式典を終えて

1968年1月24日、犬山RCの堀尾源吾様を特別代表に、犬山RCと名古屋守山RCをスポンサークラブとして誕生し、爾来30年、先輩から連綿と小牧クラブの伝統と誇りを受継ぎ今日の歴史を作って参りました。当クラブは親睦を軸にしてロータリー活動の歯車を確実に廻してきたと、今強く確信しております。

30周年記念式典は、森川実行委員長の「慎ましくも晴れやかに、厳粛のうちにも心温まる記念行事を」というスローガンのもと開催を致しました。多数のご来賓の方々に見守られ、物故会員の追悼、各種団体へ記念品の贈呈、そしてチャーターメンバーの4名の方に感謝の気持ちをこめて、記念品を贈りました。記念祝賀能として、宝生流の羽衣を観賞し、日本伝統を充分に堪能。この能は名古屋中RCの福井啓次郎様にお骨折りいただき心より感謝を申し上げたいと存じます。ひとつのことを成すためには、大勢の人になさえられ、協力していただいて成し遂げられる事を改めて実感し、感謝の念を禁じえません。今後当クラブが、40年

小牧ロータリークラブ会長 服部 智教



時計塔



目録贈呈



会長あいさつ

記念祝賀能

50年と伝統を築き、大樹となるよう育てていくことをお誓いし、記念式典報告と致します。

- | | | |
|------|---------------|----------|
| 記念事業 | 1) 小牧警察署 | 時計塔 |
| | 1) 小牧市 | 環境美化啓蒙看板 |
| | 1) 県立小牧南高等学校 | パソコン |
| | 1) 小牧市社会福祉協議会 | 16m/㎡映写機 |
| | 1) ロータリー財団 | 金一封 |
| | 1) 米山記念奨学会 | 金一封 |

安城ロータリークラブ 創立40周年記念式典

長野の冬期オリンピック開会式と同じ2月7日に、碧海信用金庫本店ホールで創立40周年の記念式典及び祝宴が開かれた。

本クラブは昭和33年1月に設立され、スタート時は26人であった会員も現在は95人であります。

記念式典には、犬飼栄輝ガバナー、杉浦正行安城市長、来賓、関係者会員など140人が出席して40年の歩みを祝福した。物故会員24名への黙とうのあと、石原勝成創立40周年記念実行委員長から、「安城少年野球サークル」安城ロータリー地域共同隊(RCC)の設立と、デンパークへの木製人形「5人の衛兵たち」の寄贈など13項目の記念事業が披露され、地域共同隊の認承状が、犬飼ガバナーから安藤三代四隊長に伝達された。

杉浦会長は挨拶の中で、創立以来40年間クラブに在籍され今なお元気にクラブ発展に尽くされているチャーターメンバーが8名を数え、これは誇りであり大変に素晴らしいことである。これから先輩の築いてこられた業績を大切に、ロータ

安城ロータリークラブ会長 杉浦 実

リーの心を奉仕活動に生かして、次なる50周年に向けて、地域、国際奉仕に積極的に取り組み、さらなる飛躍を目指したいと決意を表した。

式典に続いて行われた祝宴は、テーマを「安城の歴史と文化を知る」と題して、地元の安祥太鼓でお客様をお迎えし、三河万歳を観賞していただいた。飲物は安城名産のいちぢくを原料とするワインの乾杯で始まり、地ビールの安城デンビールと地元の銘酒で喉をうるおし、和気あいあいとした和やかな懇親会で友情を深め合った。



1997~'98年度 第2回ロータリー財団合同委員会開催

日 時 1998年1月25日(日) 11:00~13:00

会 場 毎日ビル9階 国際サロン

出席者	R.I.第2760地区ガバナー	犬飼 栄輝
	R.I.第2760地区ガバナーノミニー	内藤 明人
	R.I.第2760地区(DPG)財団カウンセラー	奥谷 博俊
	R.I.第2760地区(DPG)GSEカウンセラー	福田 浩三
	R.I.第2760地区幹事	片山 主水
	R.I.第2760次期地区副幹事	藤本 博之
	地区ロータリー財団委員会 委員長	矢島 茂
	副委員長・委員	5名
	地区財団奨学金(小)委員会 委員長	長谷川 二郎
	副委員長・委員	2名
	地区財団学友会(小)委員会 委員長	梅村 東
	副委員長・委員	3名
	地区GSE(小)委員会 委員長	松前 憲典
	委員	4名
	地区ポリオ・プラス(小)委員会 委員長	酒井 孝
	副委員長・委員	3名
合計		28名

犬飼ガバナー、内藤ガバナーノミニーのご挨拶並びに奥谷財団カウンセラー、福田GSEカウンセラーのご指導を得て、次の議題が検討された。

地区ロータリー財団委員会

委員長 矢島 茂



1. GSE受入・派遣について
 2. 地区財団セミナーについて
 3. DDF選択とシェア・システムについて
 4. ジャパンプログラムと留学生選考について
 5. その他提案事項
 - 1 2760地区の1997年11月末現在の財団寄付の暫定速報について
 - 2 財団への寄付増進とクラブでの寄付勧奨方法について
 - 3 R.I.財団管理委員会の35項目の決定事項の一部について
 - ・1998~99年度の年次プログラム資金の挑戦目標7,200万USドル
 - ・財団への1人当り寄付の算出は、年次プログラム資金への年次寄付のみとする
 - ・100%ポール・ハリス・フェロー・クラブに特別表彰バナーを授与する
- 以上第2回R財団合同委員会のご報告とします。

1998~'99年度 ロータリー財団奨学生オリエンテーション

日 時 1998年1月25日(日) 13:30~16:00

会 場 毎日ビル9階 国際サロン

<オリエンテーション次第>

1. 開会
2. 出席者紹介
3. 犬飼ガバナー挨拶、奥谷財団カウンセラー挨拶、内藤ガバナーノミニー挨拶
4. オリエンテーション①矢島財団委員長 ②長谷川奨学金(小)委員長 ③梅村学友会(小)委員長
5. 奨学生からの現況報告
6. 学友からの助言
7. 質疑応答
8. 地区役員より激励の言葉
9. 閉会

'98~'99年度財団奨学生のためのオリエンテーションが犬飼ガバナー、奥谷カウンセラー、内藤ガバナーノミニーはじめ地区役員15名と古橋代表幹事他5名の学友並びに14名の奨学生の皆さんの出席を頂き開催されました。犬飼ガバナーより「私が最初に米国に行ったのは大学を卒業して3年後でしたがその当時の状況と比べますと今の奨学生の皆さんは大変恵まれていると思います。そんな良い環境のもとでしっかり勉強して頂き、やがて迎える21Cボーダレス社会で活躍をして頂くようお願いバットを振る気持ちで頑張ってください。」とのご挨拶があり、奥谷カウンセラーから

地区財団学友会(小)委員会

委員長 梅村 東



は「世界一の財団で奨学生に選ばれたことに名誉と感謝の念を感じて頂き、世界に向かって貢献するよう努力して欲しい。」そして内藤ガバナーノミニーからは「皆さんを拝見しますと立派な方々で安心致しました。日本は今大変な時期ですが、どうか皆さんこの良き機会にしっかりと自分の哲学を持って勉強して来て欲しい。」とのご挨拶を頂きました。

引き続きオリエンテーションに入り、矢島、長谷川、梅村各委員長よりそれぞれの立場から留意事項について話があり、そして奨学生による現況報告並びに学友からのアドバイスがなされました。当日出席を頂きました古橋代表幹事、下村昇、伊藤尚代、水野教子、伊藤裕子、安立薫の皆さんから貴重な体験談を語って頂き、又質疑応答を通じ有意義なオリエンテーションにすることが出来ました。推薦RCのカウンセラーの絶大なご支援と奨学生の皆さんが益々ご健勝で十分な準備をされ、5月17日(日)に行われます学友会総会並びに奨学生の壮行会でお会いすることを楽しみに閉会いたしました。

1997～'98年度 地区ロータリー財団セミナー開催

日時／1998年2月4日(水)

会場／ホテルアソシア名古屋ターミナル

地区ロータリー財団委員会 委員長 矢島 茂

'98年2月4日午後1時30分からホテルアソシア名古屋ターミナルにて地区R財団セミナーが開催され、犬飼ガバナー、内藤ガバナーノミニー、奥谷パストガバナーのご指導の下、分区代理、地区幹事、地区財団関係の委員の皆さんにも出席いただき、地区内76クラブの会長・会長エレクト・財団委員長・次期財団委員長のためのセミナーに169名ご参集いただきました。

セミナーの内容は、第1部で財団委員長から財団の使命と寄付、シェア・システム、財団の財務と寄付目標について、奨学金委員長から今年度募集奨学生の選考日程と申請書の作成要領について、学友会委員長から学友会の現況と学友の重要性並びにスポンサークラブの役割についてレジメに従って説明を行ってから質疑応答の時間を設けました。15分の休憩後、第2部はポリオ・プラス委員長からポリオとの闘い、2760地区の取り組み、ポリオ根絶のための更なる挑戦についてNID(全国一斉投与)の必要を強調され、GSE委員長からブラジル・サンパウロ派遣メンバー決定と受入れメンバーの受入日程並びに派遣メンバー激励団募集について説明があり、GSE派遣チームの犬飼芳樹リーダー(名古屋東南RC会員)から派遣メンバーの紹介と決意表明をいただきました。

ここで奥谷パストガバナー(財団カウンセラー)から財団全般にわたってご薫陶を得た基調講話をお聞きしてから総括質疑応答に入るとともに、本日の財団セミナーの効果を評価するアンケートへの記入をお願いしました。

午後4時15分、内藤ガバナーノミニーからご講



評を賜わり、地区R財団セミナーを盛会裡に終ることができました。

アンケートは本日のセミナーの結果について、①まさにその通り ②その通り ③同意できない ④同意できるどころでない、を10項の設問から選ぶもので75クラブから110通提出下さいました。

集計結果は表のとおりですが、項目の中間を選ばれた場合0.5にて配分、無回答は0でカウント致しました。尚、48名の皆さんから貴重なご意見を寄せられましたことに感謝し、次年度地区R財団セミナーの立案に使わせていただきます。

No.	設 問 事 項	1	2	3	4	回答数
	[財団プログラム]					
1	教育的プログラムがためになることが分かりました。	44	59	2	2	107
2	人道的プログラムがためになることが分かりました。	44	60	2	1	107
3	財団学友を確認することの重要性を知りました。	48	57	3	1	109
	[財団の財務]					
4	本日のプログラムの結果、財団財務の基本を理解しました。	30	71	4	1	106
	[寄付増進]					
5	恒久基金と年次プログラム基金の両方を支援する必要性を理解し、説明できるようになりました。	17	77.5	9.5	3	107
6	有益な募金方法を学びました。	16	77.5	11.5	2	107
7	他のクラブ会員にシェア・システムを説明できるようになりました。	15	73.5	15.5	0	104
	[総合的印象]					
8	地区セミナーは貴重なものでした。	51	52	5	1	109
9	講演者は話す内容について豊富な知識を有していました。	63	42	3	2	110
10	講演者は発言を奨励しました。	40	57	7	1	105

米山記念奨学会委員会からのお知らせ

財団法人 ロータリー米山記念奨学会
理事長 末永 直行

2760地区

特別寄付報告書 (1998年1月分)

クラブ名	クラブ扱入金額	個人扱入金額	法人扱入金額	合計	件数
碧 南	166,000	0	0	166,000	1件
東 知 多	201,000	0	0	201,000	1件
小 牧	300,000	0	0	300,000	1件
名古屋瑞穂	0	690,000	0	690,000	23件
名古屋栄	0	690,000	0	690,000	23件
岡 崎	0	30,000	0	30,000	3件
岡 崎 東	12,246	30,000	0	42,246	2件
岡 崎 城 南	0	30,000	0	30,000	1件
常 滑	90,000	0	0	90,000	1件
東 海	0	300,000	0	300,000	1件
豊 橋 東	0	310,000	0	310,000	6件
豊 橋 南	0	10,000	0	10,000	1件
地 区 合 計	769,246	2,090,000	0	2,859,246	64件

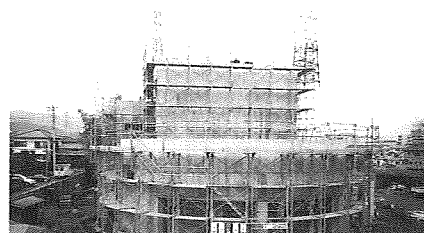
記念館情報

財団法人 米山梅吉記念館
理事長 坂本 豊美

昨年7月より着工致して居ります当館新建築もお陰を以て順調に推移致し予定通り本年4月28日竣工御披露目の予定でございます。これも一重にロータリー会員の御援助の賜と心より厚く御礼申し上げます。

新館建設に伴い当館本来の目的であるロータリー関係者の研修の場所として充分機能を発揮致すよう心掛ける所存でございます。

外構工事現況



第二米山梅吉記念館寄付金累計 (1月9日まで)

	平成8.7.1~10.1.9	昭和62.7.1~8.6.30	合計
第2760地区 愛知県	8,452,468	1,083,000	9,535,468
総合計	215,627,129	84,103,686	299,730,815

1998年度 地区米山奨学会 米山奨学生の選考試験開催

日 時 1998年2月3日(火) 9:00~17:00

会 場 名古屋国際センター5階

面接試験官 A 室 犬飼 栄輝 片山 主水
B 室 田中 徹 加藤 凱也
C 室 松本 宏 岩間 俊也
D 室 小田 公平 藤本 博之
E 室 天野 久 各務 芳樹

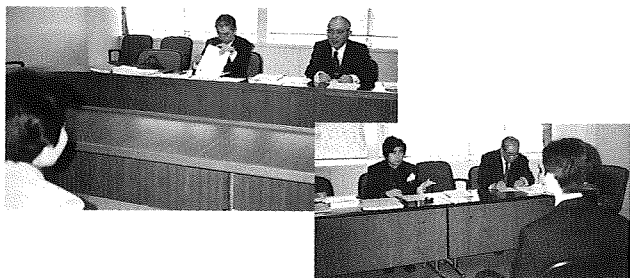
受験者 YMD.YU申込者 63名 (欠4名)

DISY-B申込者 91名 (欠9名)

1998年度採用予定者数 37名

YMD.YU 29名

DISY-B 8名



地区米山記念奨学会委員会

委員長 小田 公平

当日は犬飼ガバナーをはじめ選考委員、同補助員を含め18名の地区関係者のご出席を得て、午前9時30分より名古屋国際センター5階に於て、午前の部、YMD.YU申込者63名の作文(題名、私の家族、制限時間1時間)と面接試験がA~Eの5室に分かれて行われた。

去年は3室だったが、今年は申込者多数の為5室、選考委員も7名から10名に増員されて実施された。午後はDISY-B申込者(以前ロータリークラブが所在していた国からの私費留学生)91名の作文(題名、母国の環境と経済)と面接試験が午前同様に実施され、午後5時無事終了したが、毎年のことながら、年々増加する申込者の数と会場、時間の問題は受ける側も審査する側も共に問題が多いと痛感する。次期は若干制度が変更されるようであるがいずれにしても精神的にも肉体的にも大変な1日であった。

1997年度 R.I.第2760地区

米山奨学生期間終了者 歓送会と指導教官への感謝の会開催

日 時 1998年2月14日(土)

受付 16:00~16:30

期間終了式 16:30~17:30

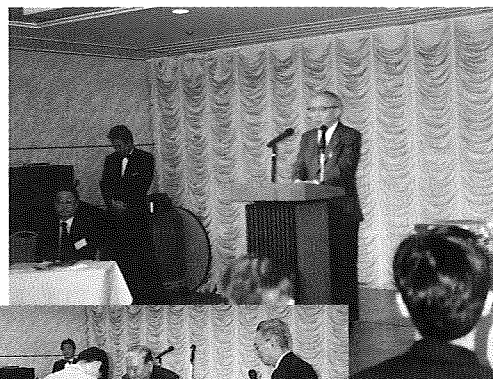
懇親パーティ 17:30~19:00

会 場 名古屋国際センター25階 東天紅

出席者	第2760地区ガバナー	犬飼 栄輝
	(財)ロータリー米山記念奨学会理事	田中 徹
	地区米山奨学会委員長	小田 公平
	地区米山奨学会委員	4名
	次期地区副幹事	藤本 博之
	地区クラブ米山カウンセラー	23名
	米山奨学生指導教官	15名
	期間終了米山奨学生	26名
	博士号取得特別参加者(魯 富子)	1名
	計	72名

地区米山記念奨学会委員会

委員長 小田 公平



上記の通り第2760地区ガバナー犬飼栄輝氏、(財)ロータリー米山記念奨学会理事をはじめ72名の出席を得て、名古屋国際センター25Fの東天紅名古屋店において、16時30分より指導教官15名、カウンセラー23名同席のもとに、1998年3月をもって期間終了と迎える奨学生26名のうち、博士号取得者5名に対して犬飼ガバナーより記念の金時計が一人一人直接手渡され、続いて田中徹理事より期間終了者全員に記念の額が贈られた。最後に犬飼ガバナー、田中理事より今までの努力と今後

の激励、更に期間終了後は全員米山愛知学友会会員として引き続き関係を密にして欲しいとの言葉があり和やかなうちに式を終了した。17時30分より指導教官、クラブカウンセラーを中心に謝恩パーティーが別室で盛大に開催され、天野米山奨学会副委員長の素晴らしい司会のもとにカウンセラー、指導教官、奨学生から思い出など交え出席者全員のスピーチがあり、時間の過ぎるのも忘れ、予定の19時に再会を約しつつ散会した。

第2760地区ニュース・その他

事務所移転のお知らせ

名古屋北ロータリークラブは、3月16日より右記の通り事務局を移転いたしました。

【新住所】

〒460-0008

名古屋市中区栄4-6-5 丸越ビル6F

電話 (052) 262-7580

FAX (052) 242-1789

電話・FAXは、従来通りです。

名古屋北ロータリークラブ
幹事 杉浦 日出夫

青少年交換プログラム 三者懇談会報告

地区青少年交換(小)委員会
委員長 木本 精之助

青少年交換の三者とは、ロータリークラブ、ホストファミリー及び受入れ高等学校を意味します。今年度の懇談会は、2月14日キャッスルプラザホテルを会場に、犬飼栄輝ガバナー、林光雄国際奉仕委員長、吉村卯一郎国際奉仕委員会カウンセラーの臨席を得て開催されました。現在交換学生を受入れ中の9ロータリークラブから、国際奉仕委員長、ホストファミリー、受入高等学校関係者等総勢40名を越える参加があつて、終始熱のこもった意見交換がなされました。

この年度2760地区にアメリカ、カナダ、オーストラリア、ブラジル、フィンランドの学生10名を受入れています。受入れに際しての実状、苦勞話は参加者の間に共感を呼ぶものが多く、今後の為に示唆に富むものでした。特に従来は学校の中での交換学生の状況について十分把握できない面がありましたが、今回出席の学校関係者の情報提供により、学校内での交換学生の姿と先生方のご苦勞についてさらに理解を深めることができました。

日本語学習については、何処でも苦勞と工夫が重ねられており、特に公文式の日本語学習教材を採用した好評例が複数の学校より報告され関心を引きました。個人差はあつても、日本語の習得と生活習慣の差異の克服は、受入れ学生の共通の課題であり、このための支援にさらに努力の必要が強く認識され、今回の懇談会の成果でありました。また、通学上の困難な事例の報告もなされたが、反対に積極的に転校を決断し課題を克服している事例が紹介されて注目を引きました。



新 ポール・ハリス・フェロー

氏 名 所属R.C.

氏 名 所属R.C.

●11月分

市川 敬恭 (一宮中央)
石原 稔久 (一宮中央)
森 眞 (一宮中央)
村橋 秀雄 (一宮中央)
祖父江英侍 (一宮中央)
樋江井 誠 (江 南)
三好 親 (名古屋千種)
鈴木 理之 (名古屋千種)
山本 眞輔 (名古屋千種)
山田 忠義 (名古屋名東)
中尾 幸暉 (名古屋名東)
中山 信義 (名古屋錦)
大脇 修 (名古屋錦)
山田 敏雄 (名古屋昭和)
伊丹 惣三 (名古屋昭和)
伊藤 栄一 (名古屋昭和)
成田 収 (名古屋昭和)
河田 洋司 (名古屋昭和)
尾原 成夫 (名古屋昭和)
渡邊 修 (名古屋昭和)
伊藤 和広 (豊川宝飯)
金田 柁宏 (豊川宝飯)
波多野四郎 (豊川宝飯)
山中 一 (岡崎東)
原田 耕平 (岡崎東)
坂井 則夫 (名古屋西)

真野 英也 (名古屋北)
西野 秀明 (名古屋北)
小栗 七生 (名古屋北)
梶山 保 (豊 川)
石黒 坦史 (豊 川)
後藤 鐘一 (豊 田 西)
石原 要 (津 島)
柴田 嘉市 (岡 崎 東)

●12月分

殿谷 忠俊 (名古屋栄)
前田 圭佑 (名古屋昭和)
奥村喜一郎 (名古屋昭和)
石川 洋光 (名古屋東山)
小野 智範 (岡崎城南)
夏目 雅康 (豊川宝飯)
花井 廣海 (東 知 多)
新海 修平 (東 知 多)
石田 守三 (東 知 多)
樋口 俊寛 (豊 川)
渡辺 正司 (豊 川)

●1月分

穂積 良治 (小 牧)
山村 昌彦 (名古屋名東)
中山 泰巳 (岡崎城南)
早川 勉 (東 海)

..... お詫びと訂正

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 1998.2.20 No.9

●7～8ページ：第4430地区GSEチーム受入れスケジュールの一部が、ファイル用の穴で欠けてしまいました。お詫びいたします。

●12ページ：「第3回地区諮問委員会議事録」

○地区大会 ローテーション

1998～1999年度 東尾張分區 →1999～2000年度
1999～2000年度 名古屋第二分區→2000～2001年度
2000～2001年度 西三河第二分區→2001～2002年度

誤

正

○地区協議会 ローテーション

1998～1999年度 西三河第一分區→1997～1998年度
1999～2000年度 名古屋第一分區→1998～1999年度
2000～2001年度 西尾張分區 →1999～2000年度

誤

正

1998年規定審議会にて採択された案件について(抜粋)

- ・クラブ月次出席報告を提出する締切日を延長する件
本立法案は、クラブの最終例会後15日以内に、そのクラブの月次出席報告をガバナーに提出する、と規定しようとするものである。
- ・クラブ理事会およびクラブ理事会承認のクラブ奉仕プロジェクトへの出席を例会出席扱いにする件
本立法案は、クラブ理事会およびクラブ理事会承認のクラブ奉仕プロジェクトに出席した会員に例会出席のクレジットを認めようとするものである。
- ・出席免除に関する規定を改正する件
本立法案によると、健康不良／傷害のため、あるいはロータリー・クラブのない国に2週間滞在するため、クラブ理事会から出席を免除された会員は、クラブの出席記録に算入されない。さらに、通算20年以上会員であって65歳以上又は通算15年以上会員であって70歳以上のシニア・アクティブ会員はクラブの出席率の算出に含まれない。
- ・国際協議会の開催期日と場所を規定する件
本立法案は、国際協議会の期日を1月1日から2月15日までの間と変更しようとするものである。
2月15日から3月31日の間に開かれる国際協議会を、1月1日から2月15日までの間と変更しても国際ロータリーに財政的負担を増すことにはならない。ランザイマー・インターナショナル発表のホテル料金によると、期日を変更しても季節的料金の増額は無い、ということである。
- ・ガバナー・エレクトを1年務められるように国際大会でガバナーを選挙する件
本立法案は、ガバナーが1年早く選挙されるよう規定するものである。そうすれば、就任前の1年間ガバナー・エレクトに指定されることになる。
- ・規定審議会を4年に1度開催し、審議会の定足数を変更する件
本立法案は、規定審議会開催の頻度を4年に1度に変えようとするものである。また、規定審議会に必要とされる定足数を、投票権を有する審議会議員の3分の1から2分の1に増やそうとするものである。

ブラジルへの図書(古本)寄贈の御礼

国際ロータリー第2760地区

ガバナー 犬飼 栄輝
国際奉仕委員長 林 光雄
GSE委員長 松前 憲典

先般来、G.S.E活動に格別のご高配をたまわり、厚く御礼を申し上げます。

この度、ブラジル サンパウロでブラジル日本文化協会が運営する図書館への古本の寄贈についてご協力をお願いいたしましたところ、皆さまか

ら沢山の図書(古本)を豊橋までお送りいただき、心から厚く御礼を申し上げます。

今年は、日本人ブラジル移住90周年の記念すべき年であります。3月上旬に船が出航致しますので、ブラジル在住の日系人の皆様が、感謝されると思います。皆様の心のこもった暖いご支援、ご協力に重ねて御礼を申し上げます。



年次大会のご案内

RAC地区代表 江村 公一

今回は、4月25日(土)と26日(日)の2日間で行われます年次大会のご紹介と参加のお願いをさせていただきます。ローターアクトクラブの年次大会とは、ロータリークラブの地区大会にあたり、一年で一番大きな行事です。25日の前夜祭では、アクトー全員の一年間の労をねぎらう事も含めてパーティー形式により楽しんでいただきます。本大会の26日は、次年度地区代表(岡崎RAC石田雄三君)及びホストクラブ(岡崎RAC)の決議をはじめ、本年度の年間事業報告などを行い、円滑な地区運営の引き継ぎをします。次期に向けての地域プロジェクトの開発、地区内クラブ間の絆の強化を図る為の地区プロジェクトです。今年は元中日ドラゴンズ監督の近藤貞雄氏をお迎えしての記念講演を予定しております。

今期は、私共名古屋熱田RACが地区をホスト運営して参りました。地区代表を仰せつかりました私は、地区テーマを『STEP BY STEP』と掲げてまいりましたが、その成果をロータリアンの皆様にも感じとっていただく為にも是非ご参加いただきたく思います。

昨年は東海RACのホストにより年次大会が行われましたが、それに負けない様、当クラブ会員一丸となつてがんばっております。多数のご参加を心よりお待ちしております。

開催日/1998年4月25日(土)～4月26日(日)
会 場/名鉄グランドホテル(名古屋市)
ホスト/名古屋熱田RAC



R.I.D. 2760

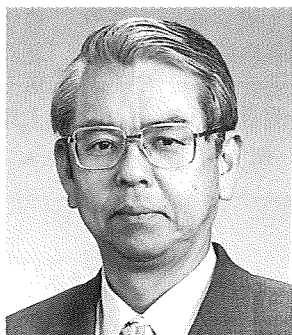
『ずっと～でいこう』

年次大会本大会テーマ

<年次大会ロゴマークについて>天に向かって伸びていく階段は、今期のローターアクト地区ターゲット「Step By Step」を、永遠に続けていこうというメッセージを表しています。

「クラブ計画書を読んで」Ⅱ

地区幹事
片山 主水



前回は、理事・役員・理事会のメンバーのことに触れましたが、順序として今回は、委員会のことについて感じたことを取り上げます。

3 委員会について

(1) どのような考えからか分かりませんが、標準定款は、各クラブの委員会の設置およびその構成については一言も触れていません。

わずかに第8条第2節に「…理事会は全役員および全委員会に対して総括的支配力をもつものとし…」と規定し、委員会のあり得ることに触れているだけです。

ということは、各クラブが委員会を設置しても設置しなくても、またどのような委員会を設置しても定款には違反しません。細則により各クラブの自由にして下さいと言っている訳です。

しかし、理事会・会長・幹事が何もかも全部管掌するというのは現実的ではありません。

RIは、推奨クラブ細則で、クラブ奉仕委員会・職業奉仕委員会・社会奉仕委員会・国際奉仕委員会の所謂4大奉仕委員会を常任委員会と呼んで、これらの委員会を設置しなければならないと定めて、設置を勧めています。(当地区内で常任委員会と呼んでいるクラブはないように思います。)

(2) 委員会組織の点においては各クラブとも大きな差異は見受けられませんでした。次の点は大変参考になりました。

一つは、会長エレクトが、来年度の会長として新会員増強について一番関係が深いとの理由で、推奨細則が第7条第2節(d)で規定しているように、会長エレクトにクラブ奉仕関係のうちロータリー情報・職業分類・会員選考・会員増強委員会の監督・調整を担当させているクラブが2割程度あります。ただこれだけでは特に新鮮味があるとは言えませんが、これとのバランス上、副会長を2人制とし、一人の副会長にその余のクラブ奉仕関係の委員会(対内奉仕)担当とし、他の副会長は職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕委員会(対外奉仕)の担当としているクラブ(岡崎城南クラブ)があります。クラブの規模により

大いに参考となる組織だと思いました。

これに関連して、定款・細則は、会員はどれか一つの委員会に所属しなければならないとは規定していませんが、全部のクラブで会員はどれかの委員会に所属することにしています。これはこれでいいのですが、注意を惹かれたのは、各会員は対内奉仕(クラブ奉仕)関係の委員の一つになると同時に、対外奉仕、本当の意味における奉仕活動の委員会の一つの委員になるというクラブがあったことです。

このクラブはたまたま会員数が少なくて止むを得ず会員を兩種委員会に配属することになっているのですが、多数の会員を擁するクラブでこそ、一つだけの委員会に所属して対内活動と対外活動のどちらかの一方の活動だけに参加するよりも、毎年両方の委員会に所属して活動する方が色々な面で有効な方法ではないかと思ったことでした。

(3) 次に、会場監督(S.A.A.)というものの本質が今一つ判りませんが、大変興味深く考えさせられるのは、会場監督(S.A.A.)が委員長になって、SAA委員会または会場設営委員会を設けているクラブがあることです。「会場監督の職務は通常その職に付随する任務、およびその他会長または理事会によって定められる任務とする。」と、細則第3条第6節はわざわざ規定していますが、何を規定しているかさっぱり分かりません。RI本部が作る文章は「手続要覧」を含め、取り分け定款・細則の文章は、日本人にとって難解・意味不鮮明なものが多いように思われます。上記の規定など一級品です。)

役員である会場監督(S.A.A.)が委員長になって委員会を担当しているということと、理事が例えば社会奉仕委員長になって委員会を担当しているのと、よく似ていますがちょっと違います。

クラブは機能分化が完全に出来ていませんから厳格には論じられませんが、原則論としては、理事会は意思決定機関、理事は意思決定機関の一員、会長以下役員は執行機関です。理事会のもとにある各委員会は意思決定補助機関であると同時に実務機関ということであると思われます。

もともと各委員会が理事会のもとにあるのか、会長のもとにあるのか、これも定款・細則上ははっきりしませんが、理事が委員長になるとしている四大奉仕委員会は理事会への傾斜が強く、その他の委員会は会長への傾斜が強く、とその辺りのことを配慮しているのでしょうか。「会長必携」の中の組織表には理事会のもとに委員会があることになっています。

同じ理事会のもとにあっても、役員である会場監督(S.A.A.)が委員長になっているSAA委員会あるいは会場設営委員会は、実務機関であることが主で意思決定補助機関が従ということになるかと思われます。

役員が委員長を兼ねるというのは、やはり異例に属するのではないかと自問自答しているところですが。

奥三河ロータリークラブ

目前に創立30周年を控える当クラブも、時の流れと時代の変遷、生活を支える経済基盤の崩壊により、一時期には70名を擁するクラブに生長した時代もありましたが、現有勢力は、会員数に於いて約半減に近く、年令的にも高令化社会を反映して平均年令63歳の数値を指しております。

新本会長の本年度努力目標、「新入会員10名を増強してクラブ運営の適性規模50名体制に復活させ活性化に結びつける」との強烈な信念と物凄い迫力、意欲に深い感銘を受け、増強委員はじめオール会員の合意と力強い支援により、上半期5～6名の入会を予定しておりましたが、結果としては4名の新入会員をお迎えすることができました。新進気鋭、JCを卒業した若くて素晴らしい行動派の皆さんで頼もしい限りであります。

2年前の女性会員の誕生につづく快挙であり、沈滞気味のクラブに大きな底力と飛躍的な弾みを与えてくれました。そこで下半期会活動のすべてを会員の増強と位置付け、更なる努力と情報の収集作業を続行して適格者選考の任に当り、誠意と真摯な態度で入会を勧奨するという増強運動をクラブ挙げて展開しているところであります。

大自然に恵まれ、緑と空気、水と人の心が綺麗な奥三河と見伝えられていますが、年毎に募る高令化とともに人は減り、若者の流出は止まるところを知らず、高齢化率も時代を20年先取りして、すでに35%強。増えるものは、猿軍団と猪族、加えて道路のあちこちに見られるゴミのポイ捨て、お互い生きがための智恵くらべ、物事すべてが、言葉通り、思うが儘にならず。はやる心を抑えて、犬飼ガバナーが年頭に際して提唱された「ハウレンソウ」と「スマイルとユーモア」の心で残る6名の新入会員探しに「智恵を絞り汗を流す今日の頃」、これがわが奥三河RCの現況であります。

●奥三河ロータリークラブ

創立年月日	1970年5月16日
RI加盟承認年月日	1970年6月15日
認証状伝達式	1970年6月15日
チャーターメンバー	8名
特別代表	野澤 東三郎氏
スポンサークラブ	豊橋北ロータリークラブ
事務所	北設楽郡設楽町
例会場	奥三河総合センター
例会日	土曜日



4名の新入会員 入会式 (1997.12.13)



奥三河幼稚園

奥三河RCは、1997年5月9日、奥三河幼稚園を建設しました。場所はスリランカ、コロンボの北約30kmのスリランカ・ガンガラ・マハ・ビハラヤという町です。

スリランカは小学校以上は普及しているのですが、就学前の子供を預かる施設はほとんどないとの事です。

幼稚園はレンガ作り平屋、面積120平方メートル、子供用2部屋、保母用1部屋、園児100名の収容が出来ます。保母3名で子供の面倒をみています。



岡崎ロータリークラブ 岡崎五万石太鼓同好会

大村 文雄

先ず写真をご覧下さい。地を這うような身体にずしんと響く太鼓の音、軽やかなコンコロ太鼓、二刀流使いの手法でたたく真鍮の胴の甲高い音のチャラポコ太鼓、ソロで派手な動きの中太鼓、ピーヒャラピーヒャラコンチキチンと笛や鉦、賑やかな楽しい演奏が紙面ではお聞かせ出来ないのが残念です。粋な法被姿の岡崎RC五万石太鼓同好会をご紹介します。

事の始まりから進めましょう。当クラブは年末に年忘れ家族会なる親睦活動委員会主催の家族も参加するクリスマス会と忘年会を兼ねたような会があり、毎年親睦委員会は独自の出し物を考え極秘の内に練習をして、アッとおどろくパフォーマンスを発表するのが慣わしでした。20年前の当時の委員長は現会長の伊藤公正君、相談の結果証券会社の支店長の「私の故郷には祇園太鼓があるが、岡崎にも五万石太鼓というのがあるそうだが、それをやったら……」見た事あるか。聞いた事あるか、誰もない、でもそれやろう。太鼓打った事あるか、誰もなし、叩けば音は出るじゃないか、何とかなるよ、ずい分いい加減な話ですが、えてして事の成り行きとはこう云うもので、後で大変な目に会うとは誰も予想出来ませんでした。

岡崎五万石太鼓は岡崎市制60周年を記念してレコード会社に依頼して作曲してもらい、太鼓はこの地方で昔から使用されていた独特のものを岡崎信用金庫さん等に寄贈していただいたもので、市制記念日にプロにより発表演奏されました。春夏秋冬の岡崎の街、自然、風物、人情を表現した格調高い、和太鼓の交響詩で、和太鼓にはめずらしく五線譜で表わされ、誰でも演奏出来る名曲だと思います。

それから練習が始まりました。近くのレオ商業組合のチームを先生に一週間2回くらいやれば何とかなるはずだ、叩けば音は出るわの甘い考えは即座に消え、心配と云うより恐怖に変わり、出来るだけ簡単な楽器を取り合う始末になってしまいました。楽器にふさわしいと思われる人を割付けてもらい夫々納得となりました。両手を使うのがむづかしい、リズム感がない、楽譜がわからないで、春だけで後は止めようと弱気な発言もありました



が、もうギブアップだと云うメンバーは一人もありませんでした。その理由は、たかが太鼓といえどもロータリアンは企業の代表者の集団でありここで落ちこぼれたのでは威信に係わるとばかり、表面上は忙しくて練習出来ないと云いながら陰では布団を太鼓に見立てたり段ボールを叩いたり、工作中でも机や膝を叩いたりでした。ある支店長さんは机を指でたたき何やらぶつぶつやっていたため、近頃支店長おかしくないかと噂されたそうです。子供にピアノを弾かせて一緒に練習した人は親子の対話が出来て、絆が深まったという美談もありました。仕事でも近頃これだけ一生懸命した事がないと云うのが後で明らかにされた秘(悲)話です。

以上のような事で演奏は大成功だった事は云うまでもない。自己満足です！折角苦労して演奏して一回で終るのはもったいない、これからも続けよう云う事で発足したのが岡崎RC五万石太鼓同好会です。以来20年近くメンバーの転勤、新入会員など入替はありますが、会員の企業のイベント、新社屋の披露パーティー、岡崎RC40周年余興、西三河分区IM、市の夏祭等々、はてはスナックのパーティーにまで出演する始末。人気は益々上っております。地域社会の職業奉仕？いや友情と親睦を深める奉仕活動を行っております。お呼びがあればどこでも出向きますのでよろしく。



新人に学ぶ

ガバナー 犬飼 栄輝

新人を迎えた職場は、ある種の緊張感に包まれます。明かるい大きな声と、ひたむきな姿勢は、新人のシンボルです。

こういう時代ですから、採用ゼロの会社も多いと思いますが、販売やサービス業では機械化にも限度があり、新人の採用と教育は大きな課題です。

学生気質も、当世は両極化しています。アルバイトやクラブ活動の話しかできない人と、本当に学生らしい学生さん。校風は卒直に言って消滅しつつあり、自分の学校に対する誇りや愛情は年毎にうすくなっています。

知識もクイズ番組なみ。例えば「草枕」は夏目漱石、「夜明け前」は島崎藤村が書いたことはよく知っているが、読んだ人は少ないようです。

しかしサービス業にとっては、面白い人物も増えています。学科試験だけでは、人物はわかりません。点数がよければ人間として上等だという考え方は、大きな間違いです。だからどこの会社も面接の積み重ねに力を注ぐようになりました。

「敬語の使い方」は今や、新人教育の必須科目です。パソコンはできても礼儀を知らない人を、ナマで世間に出す訳にはいきません。

学校には先生と友達しかいませんが、ビジネスの世界にはお客様という「神様」が存在します。

いずれにせよ、早く学生気分から抜け出してほしいと思います。

以前支店長と一緒にお客様のところに行って、帰りにコッピどく叱られた新入社員がいました。

「ソファの背もたれに2度ともたれるな。あれはお客様用だ。君はセールスマンじゃないか」

別の店からはこんな報告がありました。

「新人はお掃除ができない。ほうきの使い方を

知らず、四角い部屋を丸く掃くだけ。雑巾を使ったことがなく、水びしょでなでるだけ」と。

ある雑誌によると、最近の新人は動物に例えて悪いが、イヌ型とネコ型に分かれるそうです。

イヌ型は従順、勤勉。早く一人前になって力を発揮しようとする順応型です。ネコ型は自己中心的で、自分と会社は別。個人プレーに傾き、突然会社をやめるのもこのタイプが多いといえます。だから管理職は、それをよく見分けなさいと。

しかしこれは、少し単純過ぎるように思います。今の若い人は、決してイヌ型とネコ型だけではありません。ニワトリのような早起き型、ウマのようなスピード型、ツルのような美人型、ウグイスのような声美人やスマイル美人もいます。

まっ黒になって働くカラス型、らんらんと目を光らせ、獲物めざして一直線のワシ型もいます。

おしゃべりスズメ、眠れるウシ、なまけブタ、酒を飲めばトラ、夜になると元気が出るフクロウもいます。まるで動物園みたいですが、貴方の会社の新人は何型に育てるつもりですか。それ以前に、貴方自身は何型でしょうか。

100人の新人には100種類の感性と、でき上がりつつある人生観があり、いろいろなパーソナリティを持っています。

私たちは人間の先輩として、仕事や会社生活のルールなど、言うべきことは自信をもってキチンと言いましょ。同時に新入社員一人一人のいろいろな個性とやる気を、本当に大切にしたいと思っています。それはロータリーで言う「職業奉仕」の一つになるでしょう。

新人に学ぶことも沢山あります。

何よりも真面目で真剣です。先輩たちは、自分が失いかけているあの限りの誠実さと、一歩でも前に出ようとする彼等の気力を見習うべきです。

個人でも会社でも、弛みが出る一番大きい原因は「なれ」とマンネリ化です。新入社員が発散する不思議な新鮮さを、私たち自身が初心にかえるエネルギーにしたいと思っています。

新人の皆さんへ、あと3年足らずで21世紀を迎えます。

21世紀は貴方たちのもの、想像を絶するハイテクとハイライフの時代が待っています。それぞれの会社のよき伝統と、先輩が持つビジネスのノウハウをしっかりと身につけて、21世紀のこの日本を担っていただきたいと思っています。



第89回国際ロータリー年次大会

“インディーへのレース”に加わろう

米国インディアナ州のインディアナポリス市とホスト・ロータリアンの皆さんは、6月14～17日、同市で開催される1998年国際ロータリー年次大会へ世界中からのロータリアンのお越しをお待ちしています。活気とロータリー情報に溢れた本会議に加え、1998年国際大会への参加者は、数々の親睦行事や余興番組を楽しみにしてお越しになることができます。

1998年3月31日までは、事前割引登録料金が適用されます。この締切期日以後は、登録は現地でのみ受理され、登録料は全額支払って頂かねばなりません。



米国インディアナポリス 1998年6月14～17日

大会期間中、6月15日7:30より、インディアナポリス、ハイアットリージェンシーインディアナポリスでキンロスRI会長、竹山RI理事等々をお招きしての朝食会が開催されます。各クラブ宛、伊藤義郎RI元理事より、ご案内が送付されていると思いますが、各クラブにおかれましては大会参加者および朝食会出席者をおとりまとめの上、5月8日(金)までにガバナー事務所宛FAXにてご連絡下さい。

文庫通信 126号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料（貸出可）など、1万7千余点を収集・整備し、皆様のご利用に備えています。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最新資料から

- ◎「会長の時間 1996～1997年度」
西宮R.C. 1997 54頁
[申込先 西宮R.C. FAX (0798) 48-4811]
- ◎「広報活動の記録—活発な広報活動を展開するために」
D.2600 1997 81頁
[申込先 D.2600 TEL (0263) 36-8190]
- ◎「子どもの死の意味を考える」 D.2680 震災復興委員会「ロータリー子どもの家」 1997 39頁
[申込先 「ロータリー子どもの家」 TEL (078) 341-6492]
- ◎「JAPAN The Rotary Death March」 スチーブン・シュート 浜松南R.C. 1997 91頁
[申込先 ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎「洛西・洛東往来記—ロータリーの愉しみ—」
西谷 裕 1997 145頁
[申込先 西谷 裕 FAX (075) 561-6262]
- ◎「ROTARYが楽しく身につく本—基本を正しく理解しよう」
高岡R.C. 1997 99頁
[申込先 高岡R.C. FAX (0766) 25-4477]
- ◎「ロータリーと私」
鳴海淳郎 1997 129頁
[申込先 ロータリー文庫]
- ◎「ロータリーの意義」
ビビアン・カーター 1997 88頁
[申込先 ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎「ロータリーの心を」
D.2790 1997 64頁
[申込先 D.2790 TEL (0476) 23-2790]
- ◎「ロータリーの求めるもの」
中山義之 1997 16頁
[申込先 ロータリー文庫]
- ◎「ロータリー用語便覧」
大西省司 1997 161頁
[申込先 大西省司 FAX (0773) 22-1828]

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階 TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506
開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

分区	クラブ名	出席率	例会数	会員数		
				'97年 7月1日	当月	増減
尾張第一分区	半 田	100	3	68	70	2
	常 滑	97.24	4	71	74	3
	東 海	99.18	4	59	61	2
	東 知 多	98.80	4	67	74	7
	半 田 南	99.23	4	69	70	1
	知 多	99.29	3	49	48	-1
	6RC	98.96		383	397	14
名古屋第一分区	名 古 屋	95.50	4	221	236	15
	名 古 屋 西	99.29	3	142	150	8
	名 古 屋 南	99.18	4	127	135	8
	名 古 屋 港	100	4	128	131	3
	名 古 屋 東 南	98.81	3	89	92	3
	名 古 屋 中	99.79	3	162	167	5
	名 古 屋 瑞 穂	100	3	102	100	-2
	名 古 屋 大 須	98.58	3	101	98	-3
	名 古 屋 栄	99.08	4	80	81	1
	名 古 屋 名 駅	96.70	3	102	111	9
	名 古 屋 名 南	96.96	3	89	90	1
	名 古 屋 西 南	100	3	54	59	5
	12RC	98.66		1,397	1,450	53
名古屋第二分区	名 古 屋 北	97.86	4	112	112	
	名 古 屋 東	97.31	4	114	115	1
	名 古 屋 守 山	96.88	3	86	85	-1
	名 古 屋 和 合	100	4	108	114	6
	名 古 屋 名 東	99.41	4	83	83	
	名 古 屋 名 北	100	4	71	77	6
	名 古 屋 千 種	97.72	4	65	69	4
	名 古 屋 昭 和	98.25	4	69	74	5
	名 古 屋 錦	94.45	4	64	68	4
	名 古 屋 東 山	99.39	3	54	57	3
	10RC	98.13		826	854	28
東尾張分区	瀬 戸	99.62	4	82	71	-11
	犬 山	100	4	83	85	2
	江 南	99.53	3	73	76	3
	小 牧	98.24	4	72	75	3
	春 日 井	97.90	4	81	83	2
	尾 張 旭	99.63	4	66	67	1
	名 古 屋 空 港	97.08	4	68	71	3
	瀬 戸 北	99.62	4	69	71	2
	岩 倉	96.16	4	41	39	-2
	豊 山 一 城 北	94.30	4	57	57	
	10RC	98.21		692	695	3

分区	クラブ名	出席率	例会数	会員数		
				'97年 7月1日	当月	増減
西尾張分区	一 宮	98.92	3	92	96	4
	津 島	100	4	87	91	4
	尾 西	99.18	4	61	61	
	一 宮 北	98.20	4	84	83	-1
	稲 沢	98.52	4	65	71	6
	あ ま	99.29	4	104	105	1
	西 春 日 井	100	4	64	66	2
	尾 張 中 央	100	4	50	54	4
	一 宮 中 央	97.30	4	75	74	-1
	9RC	99.05		682	701	19
東三河分区	豊 橋	99.43	3	133	131	-2
	蒲 郡	96.93	4	76	77	1
	豊 橋 北	99.75	4	112	114	2
	豊 川	98.85	4	80	80	
	田 原	100	4	72	72	
	豊 橋 南	99.61	4	73	74	1
	新 城	93.06	4	68	66	-2
	渥 美	93.15	4	65	63	-2
	奥 三 河	92.38	3	39	43	4
	豊 川 宝 飯	97.35	3	67	66	-1
	豊橋ゴールデン	99.68	4	83	82	-1
	田原パシフィック	99.33	4	76	76	
	豊 橋 東	100	4	37	41	4
	13RC	97.66		981	985	4
西三河第一分区	岡 崎	99.80	4	121	124	3
	豊 田	97.47	2	93	95	2
	岡 崎 南	99.51	4	115	115	
	豊 田 西	99.25	4	97	104	7
	岡 崎 東	98.88	3	93	101	8
	豊 田 東	98.21	4	97	96	-1
	岡 崎 城 南	99.05	4	77	80	3
	豊 田 三 好	100	4	35	36	1
	8RC	99.02		728	751	23
西三河第二分区	刈 谷	100	4	85	96	11
	安 城	97.40	4	91	95	4
	西 尾	98.14	4	76	75	-1
	碧 南	99.39	4	80	82	2
	一 色	100	3	51	50	-1
	高 浜	97.14	4	55	55	
	知 立	100	4	57	60	3
	西尾KIRARA	100	4	72	72	
	8RC	99.01		567	585	18

地域内クラブ数 76RC

'97.7.1会員数 6,256名

増 加 会 員 数 195名

当月末会員数 6,418名

減 少 会 員 数 33名

当月平均出席率 98.59%

差引純増会員数 162名